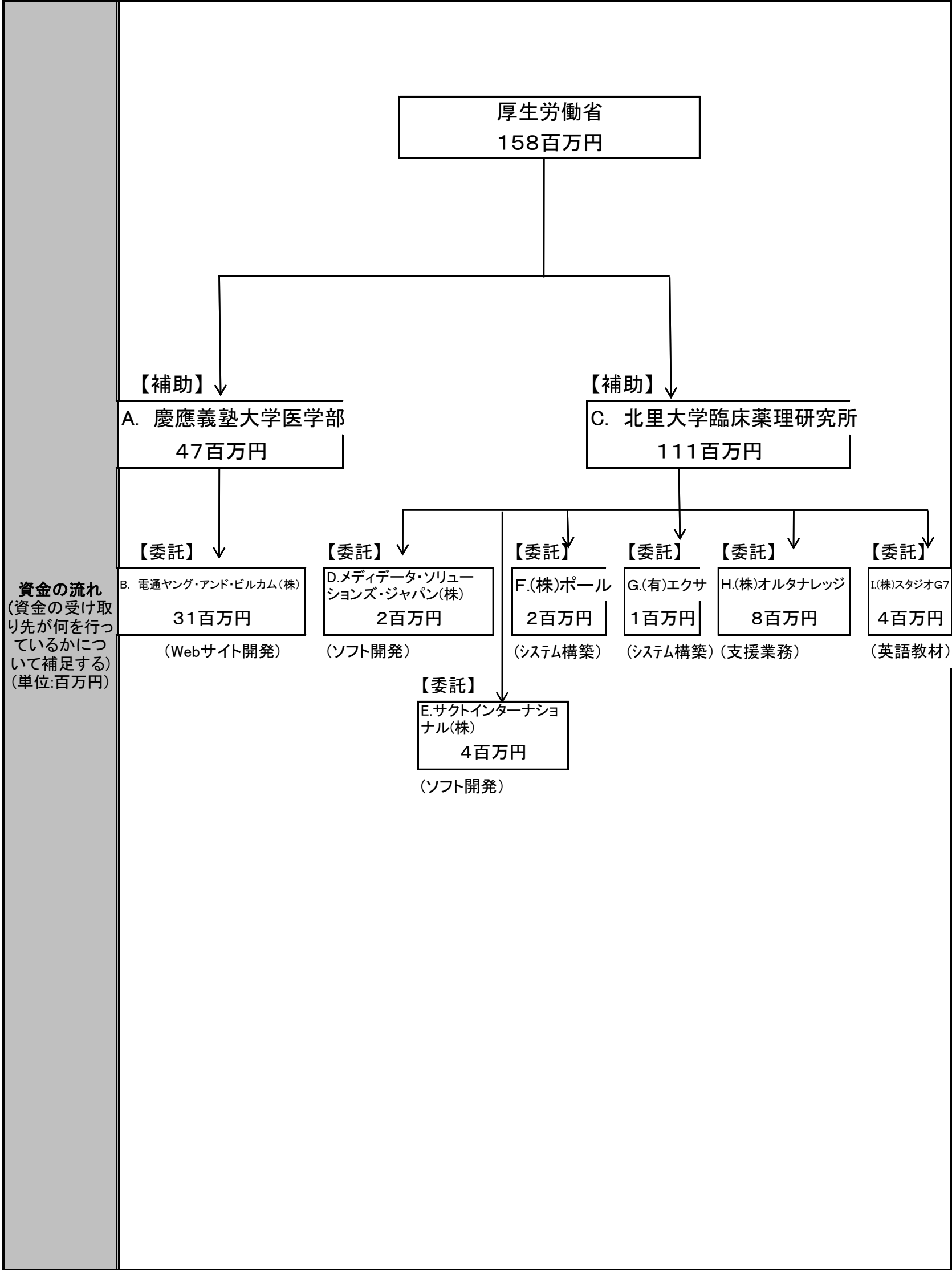


行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	グローバル臨床研究拠点等整備事業費		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	厚生労働省医政局		担当課室	研究開発振興課		椎葉 茂樹 研究開発振興課長
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新たな治験活性化5カ年計画 (平成19年3月30日 文部科学省・厚生労働省) 対日直接投資の抜本的な拡大に向けた5つの提言		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外の臨床研究実施機関の連携による治験、臨床研究を支援する体制を持つ医療機関(グローバル臨床研究拠点)を選定し、研究実施体制の整備支援を行うことで、治験、臨床研究に係る国際的な共同研究を積極的に推進し、医薬品・医療機器開発の迅速化、ドラッグラグの解消を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	グローバル臨床研究拠点において、治験、臨床研究に携わる人材育成・確保(医師を含む)、国内外の臨床研究機関間の連絡・調整、臨床研究の実施に必要な医療機関ネットワークの構築、拡大、国際共同臨床研究関連業務のIT化等の体制整備を行う。					
実施状況	グローバル臨床研究等拠点の数: 2機関(平成21年度)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)			400	599	799
	執行額			158		
	執行率			39.5%		
	総事業費(執行ベース)			158		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づきチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検証は行われている。				
	見直しの余地	予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。 また、今後、体制整備状況や国際共同臨床研究の支援課題数等の指標により評価を行う予定であり、評価結果を踏まえ、今後の支援のあり方について検討してまいりたい。				
予算監視の・効率化	本事業は平成21年度から開始しているところであり、初年度の執行率が低調ではあったが、今後の執行状況を勘案し事業の効率化を図る必要がある、					
補記						



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.慶應義塾大学医学部			E.株式会社サクトインターナショナル		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	給与	2	委託料	ソフト開発	4
賃金	非常勤職員	1			
旅費	出張旅費	2			
需用費	消耗品費等	2			
備品購入費	テレビ会議システム等	9			
委託料	委託経費	31			
計		47	計		4
B.電通ビルト・アンド・ビルカム(株)			F.株式会社ポール		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	Webサイト開発委託費	31	委託料	システム構築	2
計		31	計		2
C.北里大学臨床薬理研究所			G.有限会社エクサ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	賃金	10	委託料	システム構築	1
報償費	謝金	1			
旅費	出張旅費	4			
需用費	消耗品費等	4			
役務費	通信運搬費等	1			
備品購入費	テレビ会議システム等	70			
委託料	委託経費	21			
計		111	計		1
D.メディデータ・ソリューションズ・ジャパン(株)			H.株式会社オルタナレッジ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	ソフト開発	2	委託料	支援業務	8
			計		8
			I. 株式会社スタジオG7		
	使途	金額 (百万円)		使途	金額 (百万円)
			委託料	英語教材	4
計		2	計		4